

第73回国民体育大会 中国ブロック大会 ハンドボール競技
競技上の注意

【日 時】 平成30年8月10日（金）16時 【会 場】 KB周南総合スポーツセンター カルチャールーム

1. 競技規則、チーム構成

- ①当大会は、平成30年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則によって実施する。
②試合への参加は、チーム役員4名以内、選手14名以内の計18名以内とする。

2. 競技会場・コート大きさ、競技時間

①コート

競技会場	キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター
コートの大きさ	40m×20m

- ②競技時間は、全試合 30分ー10分(休憩)ー30分である。

3. 競技方法等

種別	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
競技方法	トーナメント	トーナメント	リーグ	トーナメント

- ① トーナメント戦で、正規の競技時間が終了したときに同点の場合は、第1延長戦・第2延長戦まで行い、それでもなお同点の場合は7mTC(5人制)を行う。
② リーグ戦での延長戦は行わない。
なお、リーグ戦の順位決定については、次のとおりとする。
(1) 順位決定はポイント方式(勝:2点、引き分け:1点、負:0点)による。
(2) 勝点が同点の場合は、25%ルールは適用せず、次のa~dの順序で順位を決定する。
a 得失点差の多いチームを上位とする。 b 総得点数の多いチームを上位とする。
c 同点チーム間での対戦結果の勝ちチームを上位とする。 d 抽選で、順位決定を行う。

4. 競技時間・退場(失格)者の表示、終了・チームタイムアウトの合図等

	メインアリーナ奥側(Aコート)	メインアリーナ入り口側(Bコート)
競技時間の表示	電光公示時計	電光公示時計
表示方法(加算・減算)	加算式	加算式
退場(失格)者の表示	退場タイマー	退場タイマー
終了の合図	ホーン	ホーン
チームタイムアウトの合図	ホーン	ホーン

※退場者の入場に関しては、チームで責任をもっておこなうこと。

5. 大会試合球

- ① 試合球は、(公財)日本ハンドボール協会の検定球(モルテン、ミカサの人工皮革公認球)を使用する。
② 試合日および種別毎のメーカーは次のとおりである。

試合日・種別	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
8/11・12	モルテン	モルテン	モルテン	ミカサ

6. 正誤表の提出

監督主将会議後に正誤表を提出すること。チーム役員の記号は監督を「A」、他の役員をプログラム順に「B・C・D」とする。チーム役員以外のトレーナーについては正誤表の最下部に氏名を記入し、申請すること。競技中はベンチ後方の椅子に着席すること。
なお、試合毎のメンバー表の提出は不要である。

7. トスの実施、ユニフォームの確認とチーム役員の服、チーム役員・選手登録証の提出

- ① トスの実施、ユニフォームの確認はそのコートのオフィシャル席前で、第1試合は競技開始30分前、第2試合以降は前の試合のハーフタイム時に行う。その際、チーム代表者はGKとCPの全ての種類のユニフォーム(濃淡・番号が明瞭に識別できるもの)を持参すること。調整がつかない場合は、チーム番号の大きいチームが変更すること。
なお、チーム役員は、相手チームのCPのユニフォームと同色のウェアの着用は、認められない。
- ② **服装や装具については、平成30年度競技規則の「服装や保護を目的とした装具に関する規定」に準ずる。**
- ③ 併せてチーム代表者は、チーム役員・選手登録証をテクニカルデレゲート(TD)に提出すること。

8. メンバーの確認

- ① 監督主将会議で決定したチーム役員・選手だけが公式記録用紙に記載され、競技に参加することができる。代表者会議で申請した臨時トレーナーについては、ベンチ後方に着席すること。
- ② 試合開始前までにテクニカルデレゲートは、提出されたチーム役員・選手登録証を台帳(プログラム)・公式記録用紙と照合・点検しておくこと。

9. 公式記録用紙の確認、チーム役員用カードの着用

- ① 試合開始 10 分前に監督は、チーム役員の氏名・記号および選手の氏名・番号が公式記録用紙に正しく記載されていることを確認し、サインすること。
- ② チーム役員は、オフィシャル席に用意してある「チーム役員用カード」を着用すること。カードAは監督が、カードB・C・Dは他の役員が着用し、記録用紙に記載された記号と同一であること。試合終了時にはオフィシャルへ返却すること。

10. 松ヤニ・松ヤニスプレー等の使用

- ① 当大会は両面テープのみ使用可とする。
- ② 松ヤニ、松ヤニスプレー、すべり止め用クリーム・樹脂等の使用を禁止する。

11. 更衣、練習会場、二足制の遵守

- ① ユニフォーム等の着替えは、更衣室を利用すること。
- ② 練習会場(土曜日はなし。日曜日は多目的ホールが利用できます。が、ゴールは設置していません。)
- ③ 屋外でウォーミングアップをする際は、屋外用シューズに履き替えること。屋内・外兼用は厳禁とする。二足制を遵守しない場合、失格とすることがある。

12. コート練習、フロアへの入場

- ① コートでの練習は、第1試合のチームは試合前、第2試合以降のチームは前の試合のハーフタイム時および試合間とする。なお、コートでの練習は松ヤニ等の付着していないボールを使用し、屋外ボールの持ち込み・使用は禁止とする。
- ② 第2試合以降のチームのフロアへの入場は前・後半終了後とし、試合の妨げにならないよう静かに待機すること。

13. 交代地域での飲料水の補給

ストロー付または完全にフタのできる飲み口の細い容器を使用し、シート・フロアを濡らすことのないよう注意すること。

14. テクニカルデレゲート、裁定委員会

- ① 当大会では、円滑な競技運営のためにテクニカルデレゲートを置く。
- ② 当大会の競技の健全化を図り、失格(3回目の退場による場合は除く)の判定があったとき、その処置を適切に行うために必要に応じて裁定委員会を開く。
- ③ 委員は、競技委員長・競技副委員長・審判長・副審判長とし、必要に応じて当該のテクニカルデレゲート・審判員・チーム役員等の関係者を同席させる。

15. その他

(公財)日本ハンドボール協会 HP「2018年度競技規則(2018.4.2)」ならびに「平成30年度 JHA オフィシャル並びにテクニカルデレゲートの任務と競技運営に関する事項(2018.4.1)」、「服装や保護を目的とした装具に関する規定」(2018.4.1) 参照のこと。

競技開始時間を厳守すること。